

市内の若者が自ら執筆しました 広報まちだジャック計画 コラム編

若者座談会

問広報課 ☎724-2101



●広報まちだジャック計画とは

「まちだ若者大作戦(※)」の作戦のひとつとして、広報まちだの特集記事を執筆することを目的に20代前半の若者が集まり、5月1日号で特集号を作成しました。今回は、特集号に引き続きコラムを寄稿します。

当コラムでは、町田市に関わる活動に参加してきた若者たちで構成された「ぶっとび隊」の皆さんに、町田市で活動する楽しさや魅力について伺いました。

(執筆：広報ジャック実行委員会 米田・山本)

●ぶっとび隊とは

町田市子どもにやさしいまち条例(まちだコドマチ条例)施行記念イベント「コドマチフェスティバルスタートアップイベント」の企画への参加をきっかけに、これまで市に関わる活動に取り組んできたメンバーを中心として結成されました。「ぶっとんだことをしよう!」をモットーに、市内イベントへの出展など幅広く活動しています。

●座談会参加者と過去に参加した主な活動

- ・金子さん(22) 桜美林大学SLC-V代表 ガクマチEXPO参加
- ・鈴木さん(22) 二十祭まちだ実行委員会OB
- ・松林さん(21) 二十祭まちだ実行委員会OB
- 有志男声合唱団ますらを
- ・平賀さん(21) 二十祭まちだ実行委員会OG ガクマチEXPO学生ファシリテーター

活動を始めたきっかけ

金子さんは、ボランティア活動に興味を持ち個人で参加する中で、大学で防災・減災啓発活動を中心に活動する団体に出会い、そのつながりから、町田や近隣地域で活動する学生団体の取り組みを紹介する学生活動報告会「ガクマチEXPO」に参加しました。「趣味で創

作活動をしているので、0から1を創り出すような、みんなで協力するイベント企画が好きなんです」と楽しそうに話してくれました。他の方々も、「人とつながることが好きだから」「成人式に参加するより作る方が面白そうだから」など、活動を始めた理由はさまざまでした。

皆さんが町田で活動する主な理由は、「やっぱり地元だから」「地域の方に恩返しができそうだから」。活動の拠点になる公共施設やお店が多いことも理由のひとつだといいます。緑とまちのにぎわいが共存していて、何でもできる便利なお店が町田の魅力。イベントの際に幅広い世代の方が足を運んでいることも活動のモチベーションにつながっているそうです。

座談会の中で、鈴木さんが20歳前後の市民を集めた「大運動会」をやりたいと話すと、「チェックリ玉入れをしよう」「大玉転がしていいよね」と盛り上がりを見せていました。市では、こうした若者の「やりたい」を応援する「まちだ若者大作戦」という取り組みを行っています。「自分にもやりたいことがある!」という方は応募してみたいかがでしょうか。

団体で活動する良さ

松林さんは「楽しいからやるけれど、楽しくない瞬間もあります」と本音で話してくれました。異なる経験を持つメンバーが進め方を合わせることに難しさがある半面、実現できるかぎりぎりの案を出すことや、実現に向けた話し合いがすごく楽しいのだといいます。ぶっとび隊では、学校や仕事、年齢、出身地の異なるメンバーが、それぞれの経験を持ち寄って、同期の仲間のように活動しています。ぶっとび隊が結成された理由のひとつは、

「それぞれの団体を卒業してつながりが失われてしまうのがもったいないから」。やりたいといえばなんでもやれそうな雰囲気が良いのだと、皆さんは終始笑顔で話してくれました。皆さんからは「つながり」という言葉が多く挙がり、活動を通してさまざまな人や団体とつながるたびに新たな発見があり、それが自分たちの成長につながっているといいます。平賀さんは自身の福祉への思いも踏まえながら、「こうした団体がより自由に活動できて、もっと身近な存在になれたらうれしい」と語ってくれました。

ぶっとび隊は、11月30日(土)開催の町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」オープニングイベントに、「カワセミサポーターズ」と称して参加予定です(イベントの詳細は12面をご覧ください)。

このコラムが、誰かが「自分も何か始めてみたい」「新しい人とつながりたい」と思うきっかけになればうれしいです。

次回の広報まちだジャック計画コラム編は、来年2月15日号掲載予定です。ぜひご覧ください。

※まちだ若者大作戦は、「子どもにやさしいまちはだれにとってもやさしいまち」の実現に向け、町田市在住・在学の中学～満23歳の若者が、自らの力で「やりたいこと」を実現できるように市が後押しする事業です。詳細はまちだ子育てサイト(右記二次元コード)をご覧ください。



若者が描く町田駅前の将来像 「君が見る、明日の町田駅」 の冊子を作成しました

問都市政策課 ☎851-7576 冊子イメージ



市では、今後の駅周辺開発における関係者の共通指針として、2024年6月に「町田駅周辺開発推進計画」を策定し、本紙、市HP、説明会などさまざまな方法で周知に努めています。その一環として、さがまち学生Club(※)に所属する大学生(りかこさん、ひろまささん、きっかわさん)に、若者の視点で町田駅周辺の課題や魅力を調査していただきました。

フィールドワークやディスカッションを通してまちへの理解を深め、それぞれの視点で「将来=明日」の町田駅周辺に期待するモノ、コトを記事にしています。冊子の内容は市HPで公開していますのでぜひご覧ください。

※「さがまち学生Club」は、相模原・町田地域の学生が地域の活性化をテーマに企画・実施していく学生主導体験プロジェクトです。「情報誌の制作」「イベントへの参画」「PR動画の制作」など、地域の関係者と協働し多様なまちづくり活動に参画しています。



りかこ

将来映画館や交流の拠点ができて、便利で楽しく誇れる町田駅になると良いなと思っています。今回の活動を通して、私たち一人ひとりが積極的にまちの将来を考え、当事者になることが大切だと感じました。ありがとうございました!

この冊子の中で、再開発においてあまりスポットライトが当たらないランドマークという要素について私なりの意見を書いているコラムがあるのでご一読いただけると嬉しいです!また、この記事を書くに当たり、どうやったらうまく町田駅周辺の課題を伝えられるかに非常に苦慮しましたが、そこがまた面白くもありました。この貴重な経験を糧に、町田市の地域おこしに更に貢献していきたいです!ありがとうございました!



ひろまさ

上京してきた身である私にとって、町田駅は単なる通学路の一つに過ぎませんでした。しかし、今回このような形で町田駅の今後に関わることができ、それに際して町田駅の過去、現在、そして未来を視ることができました。この経験により私の町田への興味と愛はより一層強まったと感じています。皆さんもこの冊子をきっかけとして、町田の今後に興味と関心を持ち、愛していただけますと幸いです。

町田の未来に、瞬き厳禁!ですね!



きっかわ



フィールドワークの様子



ディスカッションの様子